



平成 30 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 B-R サティワן アイスクリム 株式会社

代表者名 代表取締役社長 渡辺 裕明

(コード： 2268、東証 JASDAQ)

問合せ先 執行役員 管理本部 経営管理部長 肥沼 邦幸

(TEL 03-3449-0331)

## 平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 6 日付当社「平成 29 年 12 月期 決算短信 [日本基準] (非連結)」において発表いたしました平成 30 年 12 月期 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日) の第 2 四半期累計期間 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日) の業績予想と実績との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想との差異について

(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,600	百万円 △160	百万円 △145	百万円 △112	円 銭 △11.62
今回実績 (B)	9,379	△71	△18	△20	△2.15
増減額 (B-A)	△221	89	127	92	—
増減率 (%)	△2.3	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績	9,248	△39	△15	△32	△3.38

### 2. 差異の発生理由

売上高については、女子中高生やファミリー層を中心とした当社のヘビーユーザーに対し、魅力的なキャンペーンの実施や新商品発売および告知強化により売上向上を図り、ほぼ予想通りの結果を確保することができました。

また、販売費及び一般管理費については管理徹底し計画以下に抑えたことにより、営業損失、経常損失および四半期純損失は当初予想より減少いたしました。

### 3. 今後の見通し

当社の事業は、下半期 (7 月～12 月) に売上及び利益の獲得比率が高くなる特徴があります。特に多くの利益を獲得することができる第 3 四半期には、前半の業績の動向を踏まえ、キャンペーンの実施強化と TVCM や SNS での告知充実でヘビーユーザーや新規顧客の来店を促進し、さらに売上及び利益の向上を図ってまいります。

なお、当社損益の特徴を鑑み通期業績につきましては現時点での予想の変更はございません。